

映画雑誌SCREENの流儀

——近代映画社の仕事

ロシュフォールの恋人たち

クレイマー、クレイマー

レナードの朝

リバー・ランズ・スルー・イット[4Kリマスター版]

フォレスト・ガンプ／一期一会[4Kニューマスター版]

許されざる者

パピヨン

小さな恋のメロディ

スタンド・バイ・ミー



鎌倉なんみん映画祭

イマジナリーライン

ミャンマー・ダイアリーズ

グッド・ライ〜いちばん優しい嘘〜

レフュジー 家族の絆

監督 篠田正浩

——闇の中の祝祭人

乾いた花

美しさと哀しみと

心中天網島

はなれ瞽女おりん



映画雑誌SCREENの流儀

——近代映画社の仕事

戦後まもない1946年5月、近代映画社はタイロン・パワーと原節子を両面表紙に迎えて映画雑誌「SCREEN」を創刊しました。やがて外国映画の配給を一手に引き受けていたセントラル映画社が解体され、外国映画の公開数が増え、ジェームズ・ディーンやオードリー・ヘプバーン、アラン・ドロンの次々と現れた新星を日本の外国映画ファンに紹介しました。本展では映画雑誌「SCREEN」を取り上げながら、戦後の日本の映画界とともに歩み、多くの革新的な試みで映画ファンの心を掴んできた近代映画社の仕事を振り返ります。

表紙写真：ハリウッド通信員ヤニ・ベガキスのインタビューに応じるダスティン・ホフマン
(株式会社 近代映画社所蔵)



レナードの朝

6.24 (火)、29 (日) 10:30

6.26 (木)、27 (金) 14:00

1990年／アメリカ／カラー／121分／DCP
原作：オリバー・サックス 監督：ベニー・マーシャル 出演：ロバート・デ・ニーロ、ロビン・ウィリアムズ、ジョン・ハード、ジュリー・カプナー、ベネローブ・アン・ミラー

30年近く半昏睡状態にあったレナードは、誠実な医者・セイヤーの尽力が実り、ある朝に目覚める。スクリーンで様々な“顔”を見せてきたロバート・デ・ニーロが、本作では失われた30年を取り戻そうとするレナードを通して、生きていることの素晴らしさを伝える。



パピヨン

7.12 (土) 10:00

7.9 (水)、11 (金)、13 (日) 14:00

1973年／フランス＝アメリカ／カラー／151分／DCP 原作：アンリ・シャリエール 監督：フランクリン・J・シャフナー 出演：ステイヴ・マクキーン、ダスティン・ホフマン、ロバート・デマン、ウッドロー・パーフリー

無実の罪で南米フランス領のギアナにある監獄へ送られた“パピヨン”は、天才偽造職人のドガとともに自由を手に入れるべく危険で無謀な脱獄を図る。タフでアウトローな魅力を持つマクキーンと、控えめながらも存在感が光るホフマンの2大スター共演作。

チケット販売開始日 6月の上映作品(1～5): 5月10日(土)

7月の上映作品(6～9): 6月14日(土)

*作品により映像・音声が必要しも良好でないものがあります。上映素材・作品を変更する場合がありますことをご承知ください。 *当館では(4K)と記載されている場合でも(2K)上映となります。



ロシュフォールの恋人たち

6.10 (火) 10:30

6.11 (水)、13 (金)、15 (日) 14:00

1967年／フランス／カラー／127分／DCP
監督：ジャック・ドゥミ 出演：カトリーヌ・ドヌーヴ、フランソワーズ・ドルレック、ジョージ・チャクリス、ジャック・ベラン、ジーン・ケリー

年に一度のお祭りで賑わうロシュフォールの街で、双子の姉妹がそれぞれ運命の恋に落ちる。実の姉妹であるドルレックとドヌーヴが共演し、ミュージカル映画で活躍する俳優陣が脇を固める。パステルカラーが基調となった街並みや衣裳も見どころの一つ。



フォレスト・ガンプ／一期一会

[4Kニューマスター版]

6.26 (木)、28 (土) 10:30

6.25 (水)、29 (日) 14:00

1994年／アメリカ／カラー／142分／DCP
監督：ロバート・ゼメキス 原作：ウinston・グルーム 出演：トム・ハンクス、サリー・フィールド、ロビン・ライト、ゲイリー・シニーズ

バスを待つフォレスト・ガンプは、幼い頃から友人・ジェニーやベトナム戦線で共に戦った仲間たちとの出会いを懐古する。トム・ハンクスが演じる優しさと純真さを持ち合わせたフォレストは激動のアメリカ現代史を駆け抜け、観る人の心を揺り動かす。



スタンド・バイ・ミー

7.21 (月・祝) 10:30

7.23 (水)、25 (金)、27 (日) 14:00

1986年／アメリカ／カラー／89分／DCP
原作：ステイヴン・キング 監督：ロブ・ライナー 出演：ウィル・ウィートン、リヴァー・フェニックス、コリー・フェルドマン、ジェリー・オコネル、キーファー・サザーランド

文学好きで自分に自信が持てないゴードーは、友人のクリス、テディ、バーンとともに、行方不明になっている少年を探す旅に出る。同名主題歌とともに記憶される青春映画の金字塔。クリスを演じるリヴァー・フェニックスの、芯のあるまなざしが印象的。

映画鑑賞料金 一般1,300円 小・中学生:650円 (展示観覧料を含む)

特別上映料金 一般1,900円 小・中学生:950円 (展示観覧料を含む)



クレイマー、クレイマー

6.15 (日) 10:30

6.10 (火)、12 (木)、14 (土) 14:00

1979年／アメリカ／カラー／105分／35mm
原作：エイベリー・コマン 監督：ロバート・ベントン 出演：ダスティン・ホフマン、メル・ストリープ、ジャスティン・ヘンリー、ジェーン・アレクサンダー、ジョベス・ウィリアムズ

妻のジョアンナに家を出て行かれた仕事人間のテッドは息子のビリーとの新生活に悪戦苦闘するも、やがて二人の間に絆が生まれる。離婚裁判で対立する夫婦を演じたダスティン・ホフマンとメル・ストリープにとって、その後のキャリアを確立させる一作となった。



許されざる者

7.13 (日) 10:30

7.12 (土) [特別上映] 13:30

7.8 (火)、10 (木) 14:00

1992年／アメリカ／カラー／131分／DCP
監督・出演：クリント・イーストウッド 出演：ジョン・ハックマン、モーガン・フリーマン、リチャード・ハリス、ジェームズ・ウォルヴェット

かつては悪名高かった農夫が、子供たちとの生活のために再び銃を握る。西部劇のジャンルでスターの座に駆けあがったクリント・イーストウッドが主演・監督し、ともに西部劇の時代を築いたセルジオ・レオーネとドン・シーゲル両監督に捧げた一作。

特別上映

2025.7.12 (土) 13:30～

『許されざる者』＋トークイベント

SCREENは映画をこう語る!

米崎明宏さん (映画ライター)

濱田尚孝さん

(国立映画アーカイブ 客員研究員)

特別上映料金

一般1,900円

小・中学生:950円

(展示観覧料を含む)

チケット販売開始日

6月14日(土)

鎌倉なんみん映画祭

共催：NPO法人アルペなんみんセンター

チケット販売開始日

5月17日(土)

映画鑑賞料金

一般1,300円
小・中学生：650円
(展示観覧料を含む)

毎年6月20日は、国連によって難民保護と支援に対する世界的な関心を高めるために制定された「世界難民の日(World Refugee Day)」です。

2023年6月には鎌倉市が、2024年5月には神奈川県が「難民を支える自治体ネットワーク」に署名しました。

本特集を通して鎌倉における難民への理解を深め、考えるきっかけになれば幸いです。

※午後の回上映後、アルペなんみんセンターによる映画の背景解説・活動紹介があります。(約20分／21日を除く)



イマジナリーライン

6.18 (水) 10:30
6.21 (土) 14:00 **＋アフタートーク**

2024年／日本／カラー／90分／Blu-ray
監督：坂本憲翔 出演：中島侑香、LEIYA、丹野武蔵、早織、松山テサ

外国ルーツの女性と親友、その友人である入管職員をめぐる物語を通して、日本の難民問題、入管制度、外国人差別に光をあてた、東京藝術大学大学院の卒業制作作品。綿密な取材をもとに脚本が構想され、鎌倉でも撮影が行われた。21日は坂本監督によるアフタートークを実施。

7月のシネマセクション

監督 篠田正浩——闇の中の祝祭人

早稲田大学時代に中世・近世演劇を専攻し、古典芸能と日本社会の周縁にいる者たちの歴史や実態について、つねに関心とまなざしを向けてきた監督・篠田正浩(1931-2025)。映画制作を引退後も、『河原者ノススメ 死穢と修羅の記憶』『路上の義経』『卑弥呼、衆を惑わす』(ともに幻戯書房)を著しました。日本映画における新たなスタイルを確立しつつも、一貫したテーマを追求し描き続けた篠田監督の代表作を上映します。



乾いた花

7.15 (火) 10:30
7.17 (木)、20 (日) 14:00

1964年／文芸プロダクションにんじんくらぶ／白黒／96分／35mm
監督・脚本：篠田正浩 脚本：馬場当 原作：石原慎太郎 出演：池部良、加賀まりこ、藤木孝、原知佐子、三上真一郎、宮口精二

花札賭博にとり憑かれた刑務所帰りの男が、賭場で出自不明のミステリアスな女・冴子と出会い、惹かれ合う。横浜を舞台に、篠田監督が光と闇の強いコントラストで裏社会を描いた異色のノワール映画。加賀まりこ扮する冴子のスタイリッシュな衣裳は、森英恵のデザインによるもの。

*2025年4月より料金を改定します。ご理解いただけますよう、よろしくお願い申し上げます。
*鎌倉市民の方、シニア料金などの割引はございません。



ミャンマー・ダイアリーズ

6.20 (金) 10:30
6.18 (水)、22 (日) 14:00

2022年／オランダ＝ミャンマー＝ノルウェー／カラー／70分／DCP
監督：ミャンマー・フィルム・コレクティブ (匿名のミャンマー人監督たちによる制作)

民主化の希望から一転、2021年2月の軍事クーデター以来激しい弾圧が続くミャンマーでは、140万人が難民となり今も350万人以上が国内を逃げまどっている。圧政下を生きる匿名の若手映画作家たちの短編と市民による投稿映像が、ミャンマーの現実を映し出す。ベルリン国際映画祭パノラマ部門ドキュメンタリー受賞。



美しさと哀しみと

7.20 (日) 10:30
7.15 (火)、18 (金) 14:00

1965年／松竹／カラー／106分／35mm
監督：篠田正浩 脚本：山田信夫 原作：川端康成 出演：加賀まりこ、山村聰、八千草薫、山本圭、渡辺美佐子、杉村春子

鎌倉と京都を舞台にした川端康成の同名小説を映画化。妻子ある身でありながら、音子という少女を孕ませた小説家の大木は、その後画家になった彼女と20年ぶりの再会を果たす。音子の愛弟子・けい子役を加賀まりこが可憐かつ情熱的に演じ、彼らの情念のゆくえんを思わぬ展開へと導く。



グッド・ライ〜いちばん優しい嘘〜

6.19 (木)、21 (土) 10:30
6.20 (金) 14:00

2014年／アメリカ／カラー／110分／DCP
監督：フィリップ・ファラルドー 出演：リース・ウィザースプーン、アーノルド・オーチェン、ゲール・ドゥエイニー、エマニュエル・ジャール

1983年に始まったスーダンの内戦で家族を失い、難民キャンプで育った“ロストボーイズ”と呼ばれる孤児たち。政府間での移住計画によりアメリカにやってきたスーダンの若者と彼らを受け入れる側の物語を、実話をもとに描き出す。実際のロストボーイズ出身者がメインキャストを演じた。



心中天網島

7.16 (水)、18 (金) 10:30
7.19 (土) 14:00 **＋上映解説**

1969年／表現社＝ATG／白黒／103分／35mm
監督・脚色：篠田正浩 脚色：富岡多恵子、武満徹 原作：近松門左衛門 出演：中村吉右衛門、岩下志麻、滝田裕介、小松方正、加藤嘉

浄瑠璃の要素を映画にとり入れるべく、篠田は劇中に黒子を登場させるなど大胆な演出を行い、そこに様々な才能を集結させた。美術・栗津潔は遊郭を斬新なデザインで構成し、武満徹はガムランをとり入れた実験的な音楽を作曲、また武満と詩人の富岡多恵子が脚色にも創意を凝らした。

チケット販売場所

鎌倉市川喜多映画記念館窓口 0467-23-2500

*友の会会員の方は、指定の期間に電話予約が可能です。



レフュジー 家族の絆

6.22 (日) 10:30
6.19 (木) 14:00

2018年／イギリス／カラー／87分／Blu-ray
監督：アレクサンダー・J・ファレル

2011年から内戦が続くシリア。ヨーロッパへの亡命を計画したアラリー家だが、先に国外に逃れた母に対し、父子は途中で国境が封鎖され身動きがとれなくなってしまう。果たして家族は再会を果たせるのか。ヨーロッパにおける難民の過酷な現状を映し出したドキュメンタリー。

チケット販売開始日

6月14日(土)

映画鑑賞料金

一般1,300円
小・中学生：650円
(展示観覧料を含む)



はなれ囃女おりん

7.17 (木)、19 (土) 10:30
7.16 (水) 14:00

1977年／表現社／カラー／117分／35mm
監督・脚本：篠田正浩 脚本：長谷部慶次 原作：水上勉 出演：岩下志麻、原田芳雄、奈良岡朋子、樹木希林、西田敏行、嶺川貴子

三味線を弾き、囃女唄を歌いながら門付けをして歩く盲目の旅芸人・おりんを主人公にした水上勉の原作を映画化。北陸や上越など約80か所で撮影された、春夏秋冬の美しい景色を背景に、数奇な運命に翻弄されるひとりの囃女を岩下志麻が熱演。撮影・宮川一夫とともに高く評価された。

Filming Schedule

6月	関連上映 映画雑誌 SCREENの流儀 近代映画社の仕事 チケット発売日 5.10(土)	10(火)	10:30	ロシュフォールの恋人たち(127分)	14:00	クレイマー、クレイマー(105分)
		11(水)			14:00	ロシュフォールの恋人たち(127分)
		12(木)			14:00	クレイマー、クレイマー(105分)
		13(金)			14:00	ロシュフォールの恋人たち(127分)
		14(土)			14:00	クレイマー、クレイマー(105分)
		15(日)	10:30	クレイマー、クレイマー(105分)	14:00	ロシュフォールの恋人たち(127分)
	鎌倉 なんみん映画祭 チケット発売日 5.17(土)	18(水)	10:30	イマジナリーライン(90分)	14:00	ミャンマー・ダイアリーズ(70分)
		19(木)	10:30	グッド・ライ〜いちばん優しい嘘〜(110分)	14:00	レフュジー 家族の絆(87分)
		20(金)	10:30	ミャンマー・ダイアリーズ(70分)	14:00	グッド・ライ〜いちばん優しい嘘〜(110分)
		21(土)	10:30	グッド・ライ〜いちばん優しい嘘〜(110分)	14:00	イマジナリーライン(90分)+アフタートーク*1
		22(日)	10:30	レフュジー 家族の絆(87分)	14:00	ミャンマー・ダイアリーズ(70分)
	関連上映 映画雑誌 SCREENの流儀 近代映画社の仕事 チケット発売日 5.10(土)	24(火)	10:30	レナードの朝(121分)	14:00	リバー・ランズ・スルー・イット(124分)
		25(水)	10:30	リバー・ランズ・スルー・イット(124分)	14:00	フォレスト・ガンブ／一期一会(142分)
		26(木)	10:30	フォレスト・ガンブ／一期一会(142分)	14:00	レナードの朝(121分)
		27(金)	10:30	リバー・ランズ・スルー・イット(124分)	14:00	レナードの朝(121分)
		28(土)	10:30	フォレスト・ガンブ／一期一会(142分)	14:00	リバー・ランズ・スルー・イット(124分)
		29(日)	10:30	レナードの朝(121分)	14:00	フォレスト・ガンブ／一期一会(142分)
7月	関連上映 映画雑誌 SCREENの流儀 近代映画社の仕事 チケット発売日 6.14(土)	8(火)			14:00	許されざる者(131分)
		9(水)			14:00	パピヨン(151分)
		10(木)			14:00	許されざる者(131分)
		11(金)			14:00	パピヨン(151分)
		12(土)	10:00	パピヨン(151分)	13:30	【特別上映】許されざる者(131分)+トークイベント*2
		13(日)	10:30	許されざる者(131分)	14:00	パピヨン(151分)
	監督 篠田正浩 闇の中の祝祭人 チケット発売日 6.14(土)	15(火)	10:30	乾いた花(96分)	14:00	美しさと哀しみと(106分)
		16(水)	10:30	心中天網島(103分)	14:00	はなれ瞽女おりん(117分)
		17(木)	10:30	はなれ瞽女おりん(117分)	14:00	乾いた花(96分)
		18(金)	10:30	心中天網島(103分)	14:00	美しさと哀しみと(106分)
		19(土)	10:30	はなれ瞽女おりん(117分)	14:00	心中天網島(103分)+上映解説
		20(日)	10:30	美しさと哀しみと(106分)	14:00	乾いた花(96分)
	関連上映 映画雑誌 SCREENの流儀 近代映画社の仕事 チケット発売日 6.14(土)	21(月・祝)	10:30	スタンド・バイ・ミー(89分)	14:00	小さな恋のメロディ(106分)
		22(火)	休館日			
		23(水)			14:00	スタンド・バイ・ミー(89分)
		24(木)			14:00	小さな恋のメロディ(106分)
		25(金)			14:00	スタンド・バイ・ミー(89分)
		26(土)			14:00	小さな恋のメロディ(106分)
		27(日)	10:30	小さな恋のメロディ(106分)	14:00	スタンド・バイ・ミー(89分)

紫陽花が咲く記念館を巡る展示解説ツアー

紫陽花が咲く当館と鎌倉市鍋木清方記念美術館を巡る展示解説ツアーです。普段は非公開の旧和辻邸も見学できます。(予約不要)

日時：6.6(金)、6.8(日)、6.12(木) 13:30~14:30

集合場所：鎌倉市鍋木清方記念美術館 料金：各館の展示観覧料



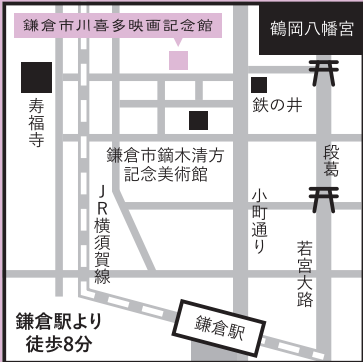
- *1 トークゲスト：坂本憲翔さん(映画監督)
- *2 トークゲスト：米崎明宏さん(映画ライター)
×濱田尚孝さん(国立映画アーカイブ 客員研究員)

ギャラリートーク／上映解説

展示の見どころ／上映作品について、学芸員が解説します。(要企画展観覧料)

*ギャラリートーク後に、旧和辻邸見学ツアー(希望者のみ)を行います。(約10分)

ギャラリートーク 6.28(土)：13:00～ 上映解説 7.19(土) 午後の上映終了後(約40分)



Kamakura City Kawakita Film Museum
鎌倉市川喜多映画記念館

〒248-0005 神奈川県鎌倉市雪ノ下2-2-12

0467-23-2500

開館時間：9:00～17:00 (入館は16:30まで)

休館：月曜日(7月21日は開館)、7月22日(火)

主催：川喜多・KBSグループ(鎌倉市川喜多映画記念館指定管理者)

- *駐車設備がありませんので、公共交通機関をご利用ください。
- *席数、入館時間等は状況により変更する場合がございます。
- 詳しくはお問合せください。

https://kamakura-kawakita.org



チラシ郵送サービス申込受付中

料金：1000円／6回

お申込日以降に発行される当館の企画展・上映チラシを6回分ご自宅に郵送

友の会 会員募集中

年会費：2500円

期間：2025.4.1-2026.3.31

会員特典

- * 映画チケットの電話予約が可能
- * 1300円分の映画鑑賞引換券を2枚プレゼント
- * 展覧会観覧料がいつでも無料
- * 会員向けのイベントを実施
- 記念館窓口、郵便振替でお申込みを受け付けています。詳しくはお問合せください。